

としょかん だより

2023. 12 NO.224

宍粟市立図書館

〒671-2576
宍粟市山崎町鹿沢81

TEL 62-4620 FAX 62-9688

<https://www.ik.licsre-saas.jp/shiso/>



ドキドキ！ 中身はおたのしみ！

図書館の福袋



12 月 14 日 (木) 貸出スタート

※なくなり次第終了



毎年好評の " 本の福袋 " を今年も実施します。

どんな本が入っているかは、借りてからのおたのしみ！

新たな本との出会いがあなたを待っています！

- ・司書がさまざまなテーマに沿って厳選した本3冊を、中身がわからないように袋に入れています。
- ・気になるテーマの福袋を選んで、カウンターでお借りください。
- ・お1人1袋借りられます。
(※プレゼントではありませんのでご注意ください。)

大人用・子ども用
各 30 袋限定



こんな本あります
『「よく見る人」と「よく聴く人」
共生のためのコミュニケーション手法』
広瀬浩二郎・相良啓子 著(岩波書店 2023年刊)

本書は、目が見えない研究者と、耳が聞こえない研究者が、それぞれの歩みをたどりながら、他人と分かり合うためのコミュニケーションの可能性について考察しています。

著者の一人、広瀬浩二郎さんは、「初めての全盲学生」として京都大学に入学し、多くのマスコミに取り上げられました。しかし広瀬さんは、週刊誌のお涙頂戴の派手な見出しに違和感を抱きました。称賛の裏に「視覚障害者はかわいそうな人」という偏見があるのではと感じ、自分の活動を通して社会の障害者像を変えたいと考えるようになりました。その後、広瀬さんは国立民族学博物館の教授となり、さわって楽しむ展

示などの「ユニバーサル・ミュージアム」の研究を行っています。

もう一人の著者である相良啓子さんは、19歳で両耳を失聴しました。人と関わる仕事がしたいと思い、旅行会社に就職し、聴覚障害者をサポートする添乗員になりました。さらに相良さんは、フィンランドに渡り世界ろう連盟でボランティアを経験し、国際手話を身につけました。現在は、手話を言語としてとらえ、そのしくみを調べ、世界の手話を科学的に分析する「手話言語学」を研究しています。

二人は、手話や点字など様々な工夫を凝らしてコミュニケーションの手段を磨いてきました。見えない広瀬さんと、聞こえない相良さんの対談では、視覚障害と聴覚障害の差異が浮かび上がります。障害を「異文化」と表現する彼らの視点はユニークです。また、常に広い世界を求めて飛び出す行動力には驚かされます。

「かさじぞう」

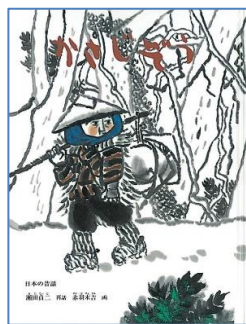
瀬田 貞二 再話
赤羽 末吉 画(福音館書店)

昔、あるところに貧乏なじいさんとばあさんがいました。じいさんが編み笠をつくっては、町で売って暮らしていました。ある年の大みそか、笠を売って、正月のもちを買ってこようと出かけていきました。

ところが、ひとつも売れないまま、日が暮れて、雪が降ってきたので、じいさんは仕方なく帰り始めました。途中で吹雪になりました。見ると、地藏さまが顔からつららをたらして、並んで立っています。「さぞ寒かろう」と、じいさんは売り物の笠を順々にかぶせましたが、ひとつ足りません。そこで、自分の笠をかぶせ、家へ帰りました。

元日の明け方、「よういさ、よういさ、よういさな」と、そり引きの声が聞こえてきました。その声はどんどん近づいてきます。・・・

広く知られた昔話が、淡い墨絵で描かれていきます。読み進めると、四歳くらいから楽しめます。



「やかまし村の春・夏・秋・冬」
アストリッド・リンドグレン 作
大塚 勇三 訳(岩波書店)



やかまし村には、家はたったの三軒、子どもは六人しかいません。中屋敷のラッセとボッセとリース、南屋敷のオッレ、北屋敷のブリッタとアンナです。

リースたちはクッキー用の生地をもらい、型抜きしました。ツリーに飾るショウガ入りクッキーを焼くためです。次の日は、ツリーにするモミの木を切りに森へ出かけました。大きな馬そりで雪深い森を進み、形のいい木を探しました。クリスマスは、準備も楽しいことがいっぱいです。

ほかに、おつかいに行く話や、オッレの妹が生まれる話など、やかまし村の素朴で豊かな暮らしが味わえる話が詰まっています。シリーズの二冊目ですが、この本からでも楽しめます。自分で読むのも、読んでもらうのもおすすめです。

新着図書紹介

◆このリストは直近1か月に入った本の一部です◆

書 名	著 者	出版社	ジャンル
宮部みゆきが「本よみうり堂」でおすすめした本 2015-2019	宮部 みゆき	中央公論新社	書 評
世にも至宝な博物館 後世に遺したい 50 のみらい遺産	丹治 俊樹	みらいパブリッシング	博物館
日本の古代を知る古墳まるわかり手帖	クリエイティブ・スイート	二見書房	古 墳
秒で探せる・戻せる実践！オフィスの片づけ	家村 かおり	同文館出版	事務管理
50代で一足遅れてフェミニズムを知った私がひとりで安心して暮らしていくために考えた身近な政治のこと	和田 静香	左右社	女性問題
それでも私は介護の仕事を続けていく	六車 由実	KADOKAWA	介護福祉
今日から始める家庭の防災計画	高荷 智也	徳間書店	災害予防
いじめられっ子だった弁護士が教える自分の身のまもり方	菅野 朋子	草思社	いじめ
ようこそ！富士山測候所へ 日本のてっぺんで科学の最前線に挑む	長谷川 敦	旬報社	気象観測
医師と患者は対等である	岸見 一郎	日経 BP	患者心理
健康診断の結果が悪い人が絶対にやってはいけないこと	野口 緑	日経 BP	健康管理
クリスマスを楽しむかぎ針編みのサンタクロース	—————	アップルミンツ	編み物
我が家のおせち 決定版	有元 葉子	東京書籍	料 理
自家醸造を楽しむ本	アドバンスブルーイング	農山漁村文化協会	飲み物
まいにち食べたいそば粉 100%のおいしいパンとおやつ	小池 ともこ	二見書房	菓 子
黒田健太郎のコンテナガーデン	黒田 健太郎	主婦の友社	鉢植え
名画と建造物	中野 京子	KADOKAWA	絵 画
エストニアのかわいい刺しゅうと民族衣装のはなし	荒田 起久子	産業編集センター	刺しゅう
箱根駅伝 襷がつなぐ挑戦	読売新聞運動部	中央公論新社	駅伝競走
吉村昭と津村節子 波瀾万丈おしどり夫婦	谷口 桂子	新潮社	作家研究
もし「源氏物語」の時代に芥川賞・直木賞があったら	小谷野 敦	秀和システム	日本文学史
アボカドの種	俵 万智	角川文化振興財団	短 歌
歌われなかった海賊へ	逢坂 冬馬	早川書房	日本小説
無人島ロワイヤル	秋吉 理香子	双葉社	日本小説
野火、奔る 弥勒シリーズ(12)	あさの あつこ	光文社	日本小説
鋼の絆 ギンイチ消防士・神谷夏美	五十嵐 貴久	祥伝社	日本小説
共に明るい	井戸川 射子	講談社	日本小説
宙わたる教室	伊与原 新	文藝春秋	日本小説
君が手にするはずだった黄金について	小川 哲	新潮社	日本小説
福音列車	川越 宗一	KADOKAWA	日本小説
Q	呉 勝浩	小学館	日本小説
アンと幸福 和菓子のアン(4)	坂木 司	光文社	日本小説
存在のすべてを	塩田 武士	朝日新聞出版	日本小説
半暮刻(はんぐれどき)	月村 了衛	双葉社	日本小説
星を編む	凧良 ゆう	講談社	日本小説
スピノザの診察室	夏川 草介	水鈴社	日本小説
わたしに会いたい	西 加奈子	集英社	日本小説
ロスト・イン・ザ・ターフ	馳 星周	文藝春秋	日本小説
黒い絵	原田 マハ	講談社	日本小説
じい散歩(2) 妻の反乱	藤野 千夜	双葉社	日本小説
マリスアングル 姫川玲子シリーズ	菅田 哲也	光文社	日本小説
夜明けのはざま	町田 そのこ	ポプラ社	日本小説
諸葛亮(しょかつりょう) (上・下)	宮城谷 昌光	日経 BP 日本経済新聞出版	日本小説
天神参り たすけ鍼	山本 一力	朝日新聞出版	日本小説
思い出の屑籠(くずかご)	佐藤 愛子	中央公論新社	エッセイ
ふたつの時間、ふたりの自分	柚月 裕子	文藝春秋	エッセイ
自由の丘に、小屋をつくる	川内 有緒	新潮社	手 記
ようこそ、ヒュナム洞書店へ	ファン・ボルム	集英社	外国小説

年末・年始の返却ポスト使用について

12月29日(金)～1月4日(木)の期間
返却ポストは利用できません。

年末年始の休館にあわせ、
12月14日(木)～12月27日(水)の間、
貸出期間は3週間、
貸出可能冊数は10冊
に変更します。



読書会

月1冊本を選び、感想などを気軽に話し合っています。
いつでも参加、見学できます。

日時	12月9日(土)(第2土曜日) 14時～15時30分
作品	12月 『神さまの貨物』 ジャン＝クロード・グランベール 著
	1月 『寝台車』(音声図書視聴) 宮本 輝 著

移動図書館車
ささゆり号
運行予定日



巡回場所	12月	1月	貸出時間
山崎町内	12日(火)	16日(火)	10時40分～14時
一宮町(学校・こども園)	1日(金)	12日(金)	9時30分～15時30分
一宮町内	16日(土)	13日(土)	10時～15時
波賀町(学校・幼稚園)	6日(水)	11日(木)	10時15分～16時
波賀町内	23日(土)	27日(土)	10時30分～15時
千種町内	13日(水)	17日(水)	11時～14時

巡回形式のため時間によって貸出場所は変わります。
場所・時間が変更になることがあります。詳しくはお問合せください。
しーたん通信でもお知らせしています。



図書館カレンダー

12月

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

×休館：月曜日・祝日・年末年始
(月曜日と祝日が重なるときは、
翌火曜日も休館)

△閉館：月末館内整理
特別整理期間

開館時間：
9時30分～17時30分
(金曜日のみ18時30分まで)



12月のえほんのじかん

いろいろなえほんをよみます。

2日(だい1どうぶ)

16日(だい3どうぶ)

12月のおはなしのじかん

むかしばなしなどをかたります。

9日(だい2どうぶ)

23日(だい4どうぶ)

10時30分からはじまります。

4さい以上の子どもがたいしょうです。
じかんにおくれないように来てください。

○ 読む予定の絵本 ○



『おおきいツリーちいさいツリー』

ロバート・バリリー さく
光吉 夏弥 やく(童話館出版)

ほか、クリスマスの絵本を
予定しています。

